



東京オリンピック・パラリンピック

vol.1

パラリンピックを未来へつなごう

2020年の東京オリンピック・パラリンピックをチャンスに躍動するまちへ。小松市における東京オリ・パラの方針や取り組みなどを紹介します。今後、大会までの動きをシリーズでお知らせします。

問い合わせ

スポーツ育成課 ☎24・8139

東京オリンピック・パラリンピックに向けた「こまつビジョン」

大会の成功に向けて市として積極的に貢献するとともに、大会開催の様々な効果を、小松の活性化に結び付けます。



スポーツ振興・健幸づくりで元気な人とまち

ジュニア選手の発掘・育成や、地域スポーツの振興、スポーツを通じた健康・幸せづくりを進めます。また、アスリートの活躍を支援し、みんなで夢と感動を分かち合います。



誰もがいきいきと暮らす共生社会の実現

障がい者スポーツの振興のほか、障がいのある人もない人も支え合うやさしいまちづくりを推進。ソフト・ハード両面でバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化に取り組みます。



オリンピック・パラリンピック教育で国際人育成

オリ・パラの歴史や精神、海外の文化などを学び、世界に関心を持つきっかけとし、国際人教育を進めます。また、パラリンピックを通じた障がい者への理解など、豊かな心を育みます。



世界との交流が広がる国際都市こまつへ

市内で合宿を行う6カ国をはじめとした様々な国と、スポーツや文化、教育など幅広い交流を推進します。更に、外国人が住みやすく、訪れやすいまちを創造します。



誇れる文化・観光で、世界をおもてなし

小松の自然や文化など地域資源を生かした体験のほか、案内看板の英語併記や英文パンフレット作成など、ホストタウンとしてのおもてなしの体制づくりに取り組みます。

海外6カ国の事前合宿が決定

近年、カヌー競技のメッカとして国内外から注目されている木場潟。ニュージールランド、モザンビーク、イギリス、フランス、カナダ、ブラジルの計6カ国の代表チームが、この木場潟カヌー競技場で事前合宿を行うことが決まっています。

平成21年には、文部科学省のナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に指定。常設レーンの改修や多目的トイレの増設、スロープの設置のほか、併設するトレーニングセンターの建設を県と共に進めてきました。その結果、世界に認められる施設となったのです。

ホストタウンで広がる交流の輪

石川県と小松市は、事前合宿を行う6カ国と将来にわたり交流を図るホストタウンに登録されています。スポーツや文化、教育などを通じてお互いの理解を深めます。

海外チームを招いた歓迎イベント、地元ジュニア選手への実技指導、相手国を紹介したパネル展示など、交流は既に始まっています。
また、代表チーム滞在中の通訳や手助けなどを行う「こまつスポーツ市民サポーター」を結成し、研修会も開催しています。

世界との交流がスタート

木場潟カヌー競技場では、世界で活躍するアスリートたちの事前強化合宿が始まっています。小松で技を磨く各国の代表選手たちをみんなで応援しましょう。

憧れのアスリートたちの練習を間近で見ることができ、とても刺激になります。ニュージーランドの選手に直接アドバイスをいただき、褒めてもらえてうれしかったです。世界トップレベルの選手が集う競技場で自分たちも練習ができるのは、すごいことだと思います。



▶吉本美海さん(左)、越田彩華さん(ともに小松商業高校カヌー部)



▶▶ トレーニング室や情報分析室、リハビリ室などを1カ所に集約した、木場潟トレーニングセンター。



▶中学生・高校生にカヌーの魅力伝えるニュージーランド代表選手



小松レガシーを次世代へ

世界中から日本に注目が集まる2020東京オリンピック・パラリンピック。スポーツ界の飛躍だけでなく、日本の歴史や文化、産業などを広く発信する機会となります。

小松市でも、東京オリ・パラに向けたビジョンを掲げ、共生社会の実現や国際人の育成など、まちづくり、ひとつづくりに取り組んでいきます。
東京オリ・パラを機に、まちの魅力を更に高め、小松の大切なレガシー(遺産)として次代に継承していきます。